

果肉障害を低減する機能性果実袋の開発

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

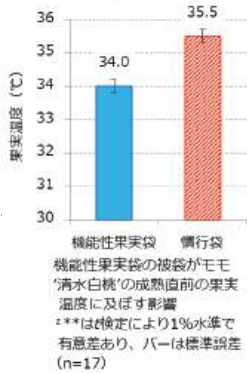
その他
(気候変動への対応)

生産 品目：モモ等

技術の概要

赤外線を効果的に遮断する機能を持つ酸化チタン（JR-1000：テイカ株式会社）を表面塗布した果実袋（以下、機能性果実袋）は、高温抑制機能がある。

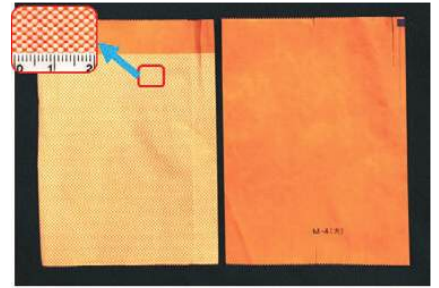
機能性果実袋をかけると、夏季高温時に果実温度の上昇を抑制し、高温が原因と考えられるモモの赤肉症、ナシのみつ症の発生が軽減される。



●機能性果実袋の外観

モモ用の機能性果実袋（右図）は慣行の果実袋表面に酸化チタン含有塗料をドット印刷しており、通気性が確保されている。

機能性果実袋は西日本果実袋株式会社により販売されている。



機能性果実袋 慣行袋

導入の留意点

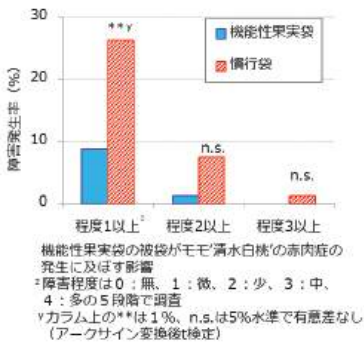
・安全性は慣行袋と変わらない

- ・安全性確認を行った結果、誤って口に入っても人体には問題がない。
- ・使用後は慣行袋と同様な廃棄処理ができる。

効果

◎果肉障害を軽減

慣行袋の被袋に比べ、夏季高温時の果実温度が約1.5℃低下し、モモ赤肉症の発生を抑制する効果が認められる。



その他（価格帯、改良・普及状況、適応地域）

- 価格帯
仕様にもよるが、慣行袋の約1.1倍～1.2倍程度の価格である。
- 改良・普及の状況
2022年度までに約323万枚の販売実績がある。
- 適応地域
日本全域。

関連情報

モモの果肉障害対策技術マニュアル



酸味が少なく糖度が高い
二ホンスモモ新品種「ハニービート」

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

その他
(労働生産性)

生産 品目：二ホンスモモ

技術の概要

二ホンスモモの主要品種「ソルダム」や「サマーエンジェル」よりも成熟期が約10日早い「ハニービート」を育成した。「ソルダム」と比べて、糖度が高く、酸味が少ない（pHが高い）ため、食味良好である。

品種	収穫盛期	果実重 (g)	糖度 (%)	酸度 (pH)
ハニービート	7月12日	128	15.5	4.4
サマーエンジェル	7月21日	149	16.0	4.0
ソルダム	7月23日	129	13.3	3.8

農研機構果樹茶業研究部門（茨城県つくば市）における2014～2016年の平均値



導入の留意点

・成熟期に降雨が多いと裂果が発生

成熟期（つくば市では6月下旬から7月上旬）に降雨が多くなる地域では、「貴陽」などで行われている傘かけ栽培を行う事が望ましい

その他（価格帯、改良・普及状況、適応地域）

- 価格帯
苗木1本あたり1,000円～2,000円
- 改良・普及の状況
2022年までに苗木2,023本販売
- 適応地域
全国の二ホンスモモ栽培地域で栽培可能

関連情報

（研究成果）酸味の少ない二ホンスモモ新品種「ハニービート」



効果

◎二ホンスモモでは早い収穫期で、消費・流通期間の拡大と労力分散に貢献

酸味の少ない二ホンスモモ品種はまだ少なく、「サマーエンジェル」などの中生以降（収穫盛期が7月20日前後）の品種がほとんどである。「ハニービート」は、これらよりも10日程度早くから収穫可能であり、酸味が少ない二ホンスモモの販売時期を早め、消費拡大と労力分散に貢献できる。